

## 二字熟語の組み立て

○似た意味の漢字を重ねたもの

例 温暖(温かい+暖かい)

豊富(豊か+富む)

○反対の意味の漢字を重ねたもの

例 明暗(明るい+暗い)

寒暖(寒い+暖かい)

○上の漢字が下の漢字を詳しくしているもの

例 大木(大きい木)

温水(温かい水)

○上の漢字が動作を表し、下の漢字がその動作の目的に当たるもの

(下から上に向かって読める)

例 登山(山に登る)

着地(地に着く)

○上の漢字が主語、下の漢字が述語になっているもの

例 日没(日が没する)

国営(国が営む)

○上に「不・無・非・未」がついて、下の漢字の意味を打ち消しているもの

例 不幸(幸せてない)

非常(常ではない)

無限(限りがない)

未知(まだ知らない)

○下に「的・然・性・化」がついているもの

例 必然 悪性 私的 強化

○長い熟語を省略したもの

例 国連(国際連合)

国体(国民体育大会)